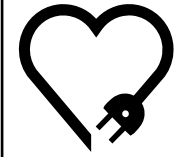
お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内	消耗品・部品のご購入専用ページ http://www.zojirushi-fresco.com/

お客様ご相談センター

0570-011874
ナビダイヤル　市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00〜17:00　月曜日〜金曜日（祝日、弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHSでのお問い合わせ　Tel　(06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ　Fax　(06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

保証書

コーヒーメーカー保証書　持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合には、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EC-DZ50	修理メモ
●お客様	お名前　☎	
	ご住所　〒	
●お買い上げ日 年　月　日	●販売店名・住所	
保証期間 お買い上げ日より **本体1年**	☎	

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1.ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
（ト）消耗部品の交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●焦げくさいにおいがする
●製品の一部に割れ、がたつき、ゆるみがある
●その他の異常や故障がある

ご使用中止
こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

ZOJIRUSHI

家庭用

コーヒーメーカー ZUTTO

型名 EC-DZ50 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※1を負うことが想定される内容を表します。

取り扱いを誤った場合、傷害※2または物的損害※3の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

△ 記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠ 警　告

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。

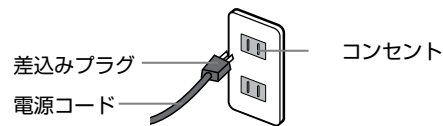
ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

蒸気口に手を触れない
やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

ガラス容器なしで使わない
やけどをする恐れがあります。

電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

禁止
電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく
火災の原因になります。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。
- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

⚠ 注　意

使用中や使用直後は高温部に手を触れない
やけどやけがの原因になります。

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

禁止
抽出中にガラス容器をはずさない
やけどの原因になります。

禁止
壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁止
ガラス容器をのせたまま本体を動かさない
やけどやけがの原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

必ず実施
差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■水タンクに水以外のものを入れない
牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水タンクに入れると故障の原因になります。

■ガラス容器は、落としたり、かたいものにぶつけたりしない
ガラスが割れてけがの原因になります。

■ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない
割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因になります。

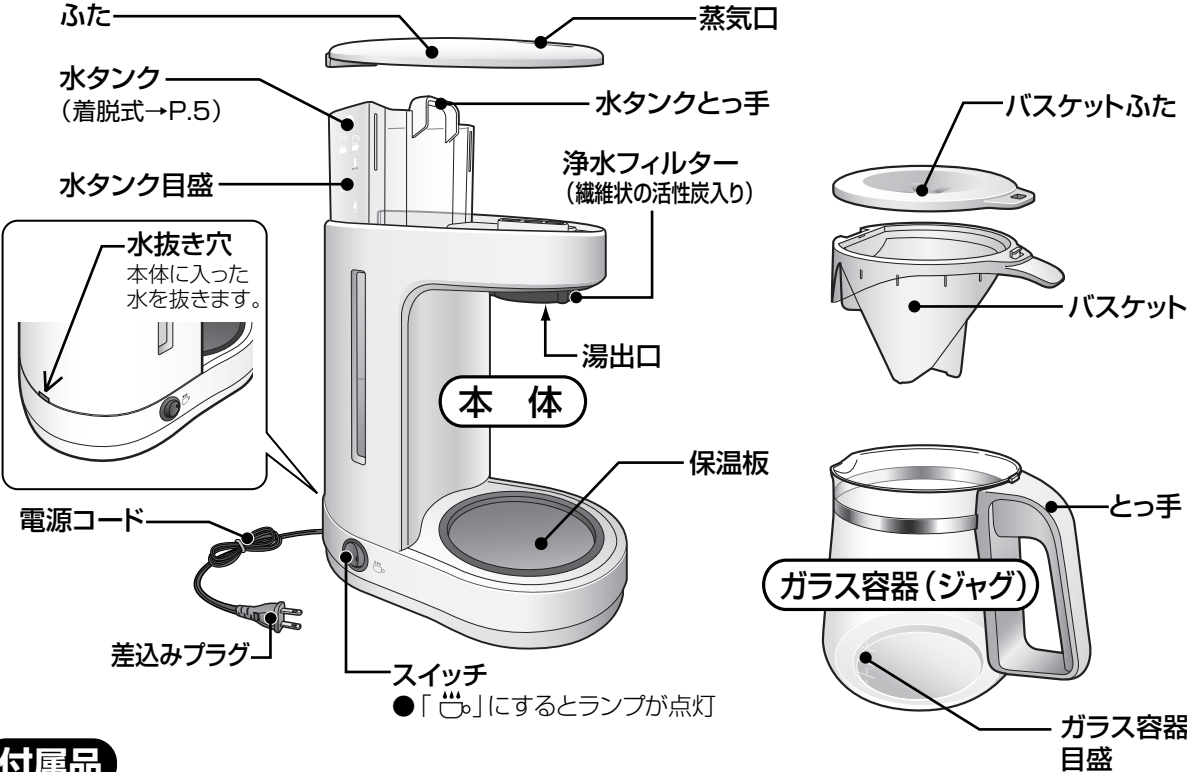
■続けてコーヒーを作る場合はスイッチを「切」（ランプ消灯）にして、約5分以上待つ
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

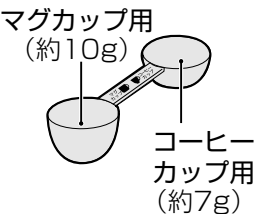
■水にぬれた場所で使用しない
感電の原因になります。

■空だきはしない
保温時以外に水タンクに水を入れずに通電すると故障の原因になります。

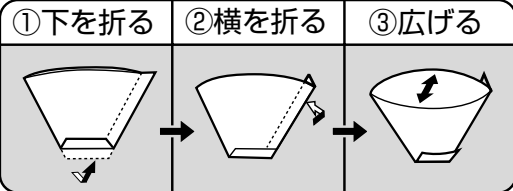
■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。

■ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない
傷がつくと破損しやすくなります。
もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分ご注意ください。

各部のなまえ

付属品

●計量スプーン
（すりきり一杯で使用）

●ペーパーフィルター（2枚）

ペーパーフィルターがなくなったときは、市販の（1×2）または（102）をお求めください。

ペーパーフィルターの折り方

交換部品・別売品

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有償）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
●ガラス容器（ジャグ）には、バスケット・バスケットふたはついていません。

部品名	部品番号	色柄
コーヒーメーカー用浄水フィルター	EC-F01	本体側面の定格シールに表示 <表示例> 色柄：WB ホワイト
コーヒーメーカー用ガラス容器（ジャグ）	JAGECDA	
コーヒーメーカー用計量スプーン	717250	
ポット内容器洗浄用クエン酸「ピカポット」(30g×4包入り)	CD-KB03	

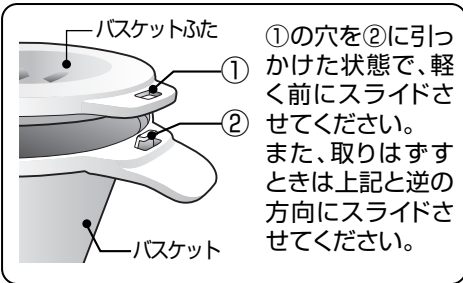
使い方 ドリップのしかた

●この製品は家庭用です。業務用では使用しないでください。
●この製品はコーヒーを作るためのものです。**コーヒーを作ること以外には使わないでください。**
水以外のもの（牛乳、酒、コーヒー、湯など）を水タンクに入れると故障の原因になります。
●初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは、浄水フィルター･ガラス容器･バスケットなどを洗い、水だけで1～2回ドリップしてください。
●使い始めのうちは、プラスチックのにおいがすることがありますが、次第ににおいは少なくなります。また初回は黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害ですので使用上差しつかえありません。

1 コーヒー粉を入れる

すりきり一杯

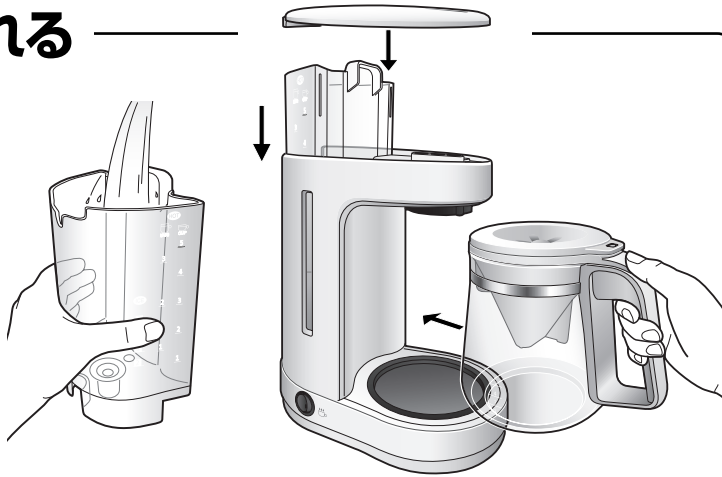
①ガラス容器にバスケットをのせる
②バスケットにペーパーフィルターをセットする
●P.4「ペーパーフィルターの折り方」参照
③コーヒー粉を付属の計量スプーンで入れる
●コーヒー粉の量は下表を参照してください。
●細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルターが目詰まりし、コーヒー粉があふれることがあります。
④下図のようにバスケットに、バスケットふたを取りつける

①の穴を②に引っかけた状態で、軽く前にスライドさせてください。
また、取りはずすときは上記と逆の方向にスライドさせてください。

標準使用量

コーヒーカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
5カップ	5杯(約35g)
4カップ	4杯(約28g)
3カップ	3杯(約21g)
2カップ	2杯(約14g)
1カップ	1杯(約7g)

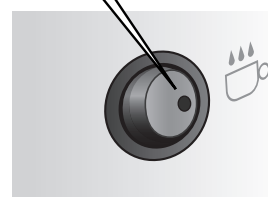
マグカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
3カップ	3杯(約30g)
2カップ	2杯(約20g)
1カップ	1杯(約10g)

2 水タンクに水を入れる

①ふたをはずし、水タンクを本体から取り出す
②作るコーヒーの量に合わせて水タンクの目盛の線まで水を入れる
③水タンクを本体にしっかりとセットし、ふたをする
（しっかりセットされていないとドリップ中に湯が出ないことがあります。）
④ガラス容器を保温板に置く

●水タンク目盛の HOT コーヒーカップ用「5」を超える水を入れないでください。ガラス容器からコーヒーがあふれる恐れがあります。
●水タンクに湯は入れないでください。水タンクの変形や湯が飛び散る原因になります。
●ガラス容器目盛は、コーヒーカップ（ホット）のできあがる量の目やすを示しています。
●水タンクが本体にセットされていない状態で本体に直接水を入れないでください。
故障の原因になります。

3 スイッチを入れる

差込みプラグをコンセントに接続し、スイッチを「 」にする

「 」にするとランプが点灯

できあがり時間の目やす　(水温・室温約20℃)

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ
コーヒーカップ	2.5 分	4 分	5.5 分	7 分	8 分
マグカップ	3.5 分	5.5 分	7.5 分	—	—

●できあがり時間は、水量・水温・電圧などでかわります。

●ドリップするときは、必ずふたおよび浄水フィルターをつけてください。浄水フィルター取りつけ穴から上方へ、また湯出口から横に湯が飛び散る場合があり、やけどの原因になります。

●本体を水にぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

途中でやめるときは…

①スイッチを「切」(ランプ消灯)にして、差込みプラグをコンセントから抜く

②浄水フィルターから湯が出なくなったことを確認し、ガラス容器とバスケット・バスケットふたを取り出す

③保温板が冷めてから水タンクに残っている水をすてる

4 スイッチを切り、コーヒーを注ぐ

①コーヒーができあがったら、スイッチを「切」(ランプ消灯)にする

②浄水フィルターから湯が出なくなったことを確認し、ガラス容器を取り出して、コーヒーカップに注ぐ

カップにコーヒーを注ぐ際、バスケットふたに溜まった水滴が、バスケットふたとバスケットのすき間からもれることがありますのでご注意ください。

ここを押さえる

●ガラス容器にバスケットをつけた状態でコーヒーをカップに注ぐことができます。

●極端に傾けすぎるとバスケットおよびバスケットふたがはずれる恐れがありますのでご注意ください。

●**水タンクの水がなくなってから、ガラス容器を取り出してください。**途中で取り出すと、浄水フィルターから湯が出てやけどなどの原因になります。

保温を続けるときは…

①スイッチは「 」にしておく

②ガラス容器にバスケットふたをしたまま保温する

●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温する時間は15分くらいまでとしてください。

連続してコーヒーを作るときは…

●スイッチを「切」(ランプ消灯)にして、**本体を5分以上冷ましてから**「使い方」の手順1より行ってください。

●**本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。**

浄水フィルターから突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

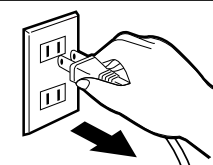
熱いコーヒーをお好みの方は…

●あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。

●できあがったらガラス容器をそのまま保温板に置いてあたためてください。(ただし、保温するときは15分くらいまでとしてください。)

使い方 つづき

5 使用後

必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜く

ミネラルウォーター使用時のお願い

●硬度200以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ(ミネラル分)が付着して、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。

●できるだけ硬度100以下のものを使用してください。

●使用中に抽出時間が長く感じられましたら、クエン酸洗浄を行ってください。(8ページ参照)

アイスコーヒーの作り方

準備するもの

●アイスコーヒー用粉
●氷
●シロップ、生クリームなど

作り方

①使い方の1～5と同じ手順でコーヒーを作ります。

●計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用します。
●水量は水タンクの ICE の目盛に合わせます。

②グラスに約8分目の氷を入れて、できたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

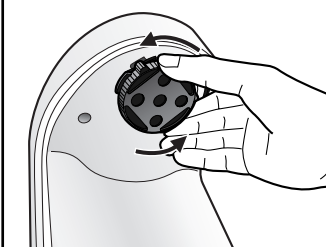
ご注意　アイスコーヒーを1カップ分だけ作ることはできません。2～5カップで作ってください。

浄水フィルターについて

沸とうした湯を浄水フィルターに通し、カルキ臭を減らします。

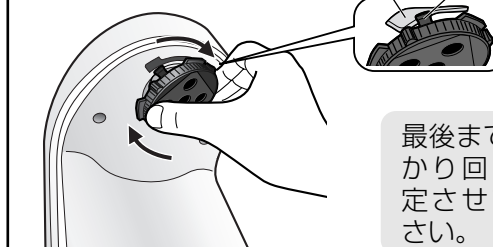
●水質などにより、浄水フィルターが変色(茶色)することがありますが、使用上差しつかえありません。
●このイラストは下から見たものです。

■はずし方

浄水フィルターを矢印の方向へ回してはずす

湯を完全に取り除き、本体が十分に冷めてから行ってください。(やけどをする恐れ)

■取りつけ方

浄水フィルターのつめ部を本体の凹部に合わせて矢印の方向に回す

凹部
つめ部

最後まで、しっかり回して固定させてください。

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜いてあることを確認し、
本体が冷めてからお手入れしてください。

●本体・電源コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。
（感電、故障の原因）
●食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使用しないでください。(部品変形の原因)
●熱湯は使用しないでください。(変形や割れの原因)
●みがき粉・スポンジのナイロン面・金属たわし・ナイロンたわしなどは使用しないでください。
（表面を傷つける原因になります。）
●シンナー・ベンジン・漂白剤・台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。

部位	お手入れ方法
本体	①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたくしぼり、汚れをふき取る ②水でしぼった布でよくふく ③乾いた柔らかい布で水気をふき取る
浄水フィルター	水で流し洗いし、よく乾燥させる ●洗剤は使わないでください。 ●浄水フィルターは消耗品です。目詰まりしている場合は、交換(有償)してください。水質や使い方により異なりますが、約2年に1回が目やすです。（1日1回使用した場合）
電源コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく
水タンク ふた バスケット バスケットふた ガラス容器	①薄めた台所用中性洗剤で洗う ②水洗いする ③乾いた布で水気をよくふき取る ●台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。 ●バスケット・バスケットふたは、十分に水切りをしてください。 ドリップ中やコーヒーを注ぐときに水滴がたれることがあります。

湯の出が悪くなったら、クエン酸洗浄を行ってください。

コーヒーメーカーをお使いいただいているうちに水の中に含まれているミネラル分が製品内部の水管などに付着します。これは「湯アカ」といわれているもので、湯アカが付着すると湯の出具合が悪くなり、コーヒーの抽出量が少なくなったり、浄水フィルターが目詰まりしやすくなります。
湯アカは次の方法で取り除いてください。
●水質により、湯アカのつき具合はかわります。ミネラル分の多い水質（ミネラルウォーターなど）は、湯アカがつきやすくなります。

クエン酸洗浄のしかた

●洗浄の前に浄水フィルターを必ずはずしてください。
浄水フィルターをつけたままクエン酸洗浄を行うとクエン酸のにおいがついたり、コーヒーの味がかわる原因になります。

●洗浄用クエン酸は象印製品取扱店でお求めください。(別売)
(クエン酸（100%）は食品添加物として使用されており、衛生上無害ですが食べないでください。)
部品名、部品番号はP.4「交換部品・別売品」の一覧を参照してください。

①ガラス容器にクエン酸小さじ1杯(約4g)を入れ、500mLの水を入れる。これをクエン酸が水に溶けるまでよくかき混ぜ、水タンクに入れて本体にセットする
②ふた・ガラス容器（バスケット・バスケットふたをセットした状態）を本体にセットし、ドリップする。クエン酸溶液が水タンク目盛「1」まで減ったとき、スイッチを切る
③ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、中に混ざっている湯アカ(白い結晶など)を除いたクエン酸溶液を再度水タンクに入れ、②をくり返す
④保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水タンク内にあるクエン酸溶液をすててすすぎ、水で数回ドリップする

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

症　状	原　因	処　置
スイッチを「（保温マーク）」にしても通電しない	差込みプラグがコンセントから抜けていませんか?	差込みプラグをコンセントに差し込んでください。
湯が出ない	水タンクに水が入っていますか?	水タンクに水を入れてください。
	水タンクは正しくセットされていますか?	水タンクを正しくセットしてください。

仕　様

型　名	EC-DZ50
定　格	交流100V　650W　50/60Hz
容　量	最大水容量　680mL
方　式	ドリップ式（水タンク着脱型）
電源コード	約1.3m(ゴムコード)
外形寸法(約cm)	幅22.5×奥行15×高さ27
質　量	約1.6kg

●外形寸法はガラス容器のとっ手を除いた寸法です。
●日本国内交流100V専用（定格100V以外の電源では使用できません。）

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき
≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。